



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

「私たち中小企業家が長崎県を牽引していく!」 ～経営を極めていく企業家集団 会勢700名を達成しよう～

情報広報委員会主催 プレスリリースセミナー 開催報告

日時：8月22日(月) 19:00 会場：シーハットおおむら

報告者：長崎新聞社 営業局広報部編集グループ長 河野 隆之 氏
N I E・記者ふれあい室長 小林 寿人 氏



今回のセミナーは長崎新聞社の「出前講座」を長崎同友会で積極的に活用する為の一つの提案としておこなっていただきました。

講演①として、「効果的なプレスリリースの方法」というテーマで河野氏に講義いただきプレスリリースとは何なのか、どのように書けば記者にわかりやすく伝わり記事にしてもらえるのかなど企業のプレスリリースを例にわかりやすく説明していただきました。その中で意識するポイントとして下記のような事があるそうです。

【書き方】

- ・タイトルと見出し、リード文が勝負
- ・事実を正確に
- ・結論を先に
- ・専門用語は極力少なく
- ・具体的な数字データを
- ・1センテンスは50字以内、3行止まりを目安に
- ・資料は別添に
- ・読みやすいレイアウトに

【注意事項】

- ・リリースは手紙ではない



目次

情報広報委員会主催 プレスリリースセミナー 開催報告	1	佐世保支部イベント部会 第2回イベント「吉岐大大神祭体験」開催報告 ...	15
8月例会報告	2	事務局企業訪問	16
2016組織強化・広報・情報化全国交流会 参加報告	10	入会会員紹介	17
第5回 景況調査 結果報告	11	会員活躍	18
情報広報委員会 in 五島 開催報告	13	10月例会案内	19
諫早支部 新商品開発チーム 第2回 意見交換会 開催報告	13	理事会議事録 抜粋	19
社会福祉法人 宮共生会(佐世保支部 原田会員)経営計画発表会 参加報告 ...	14	会員消息・会員数	20



- ・リリースは広告ではない
- ・記者は部下ではない

【記者の3つの好物】

- ・旬菜（旬の～、最高の～）
- ・寒ブリ（何年ぶりに～）
- ・初ガツオ（初めての～）

その他にも参考にする資料として、共同通信PRワイヤーや同業大手のプレスリリースをHPなどで見ることも参考になるそうです。プレスリリースを提出する場所や方法なども教えていただき、多くの事を学ぶ事が出来ました。

続いて行われた講演②では、「上手な情報発信とは」～新聞を教材に考えよう～というテーマで小林氏に講義いただき、最初にグループごとに当日の新聞の中からいち押し記事を選んで、なぜこの記事をいち押しに



選んだのかなどを発表しました。その後、情報伝達にはなぜ新聞型がベストなのか新聞記事の構造から説明していただき、①一番目を引く見出し（主張）②記事の概要のリード（理由）③記事の補足である本文（根拠）という構造から出来ており、読む人を引き付けるために見出しが必要で、要点を簡潔に見出しだけで内容が分かるようになど、読んでいただく為のノウハウが多く詰まっている事を学ぶ事が出来ました。説明後、実際の記事を読んで見出しを付けたり、写真の撮り方やトリミングなども教えていただきました。

今回はプレスリリースというテーマで講座を開催しましたが、各支部や会員の会社でも社員教育など色々なテーマで講座をおこなっていただけるとい事ですので、是非活用されてみては如何でしょうか。

（文責 情報広報委員長 山口 善也）

長崎浦上支部 例会報告

日 時	8月24日(木) 18:45
会 場	サンプリエール
内 容	THE 納涼例会 ～たまには、ゆるく集まりましょうか～



今回は懇親交流に特化した例会を行いました。出席人数は長崎浦上支部25名、長崎出島支部から4名、



経営フォーラムキャラバン隊として大村支部から4名、ゲストが4名でした。

18時45分から15分間だけ例会を行い、19時からビアホールに移って懇親会でした。会場のサンプリエールさんと長崎出島支部の柿川さんのご協力により、例会を別室で行うことができました。

スローガンの旗を掲げ忘れたのですが、吉澤支部長に相談したところ「私がやりますよ!」と、スッと前に出てスローガンを暗唱されました。さすが吉澤支



部長。会場も大拍手でした。そして新しい試みとして次月例会案内や委員会報告、経営フォーラムキャラバン告知をプロジェクターで行いました。説明もしやすく内容も伝わったので、良い取り組みだと感じました。

例会終了後、隣のピアホール会場に移りました。大きなホールは、たくさんのお客さんで大賑わいでした。特別に会場の端の方に同友会用のテーブルを用意してもらい、席は自由に座りました。キンキンに冷えた生ビールで乾杯。最高に美味しかったです。料理もビュッフェ形式で品数も多く、どれも美味しかったです。柿川さんご推薦のカレーもいただきました。深い味わいとコクにスパイシーな香り、後味にはほのかな甘味と、王道の美味しさでした。ここだけの話、私は3杯食べました。

各テーブルで自由に飲食というだけで時間がもつかなど若干の不安もありましたが、美味しい料理とお酒で会話も盛り上がっていたので、良かったと思いまし



た。

経営フォーラムキャラバン隊の皆さんは各テーブルを回り熱い思いを語り伝えていました。その結果、17名もの参加申込をいただいたそうです。

例会担当として今後の参考になるように各テーブルを観察していました。そして思ったことは、①普段の例会ではあまり会話をしない相手とも交流できたのでは。②例会に費やす体力と時間をそのまま懇親会に持ち込めたので、皆さんエネルギーが満ちた。③ピアホールということで、自分のペースで飲食ができた。でした。反省点もあったとは思いますが、今後の例会づくりに活かしていきたいと思います。

会場を提供していただいたサンプリエールさん、企画に協力していただいた柿川さん、出席していただいた皆様、ありがとうございました。

(文責 橋本 裕次郎)

長崎出島支部 例会報告

日 時	8月17日(水) 18:00
会 場	サンプリエール
テ ー マ	江戸商人に学ぶ心の経営
報 告 者	(同)ねこのて サービス提供責任者 中尾 由花 会員



今回は、江戸時代の素晴らしさと訪問介護の経営について中尾さんに報告をしていただきました。介護業界は、1年未満の離職率が一番多い業界だそうです。しかし中尾さんの会社の社員さんは離職率0%。創業からのメンバーが一人も辞めず今も働かれています。

2011年7月、実母が(同)ねこのてを設立し、中尾さんは訪問介護ヘルパーステーションねこのて管理者に就任されました。2011年より星槎大学に入学し、共生科学を学ぶ中で江戸時代の素晴らしさを知り、現代に生かせるのではないかと考えました。

近年、地球環境の崩壊や社会環境・戦争など様々な問題が起こっている中、江戸時代の循環型社会では、①地球環境との共生：リサイクルをし、ゴミをひとつも出さない社会。②社会との共生：適所適材で人の役に立ち、ニートのない社会。③地域との共生：ルールに従い戦争のない平和な社会。であったそうです。また「働く」という言葉は、江戸時代に作られた言葉で、「傍を楽にする」という意味があり、一日の三分の一以上は、世のため人のために使うという意識が江戸時代にあったとの事です。



中尾さんの会社では①活力朝礼で「じぶんで決める」今日何を着るか、今日だれに話すか、今日何を大切にするか…など全て自分で決める。という文章を社員さんと唱和されています。介護施設利用者の方にも、社員さんにも自分で決めて行動する事を教育されています。②会議の際、自分たちで考え、意見を出し合い、ルールを作る。経営者からの一方的な指示ではなく、みんなで意見を出し合い決めた事はルールを守れる。③自己評価と他者評価を実践する。チャレンジシートという書類を使い、半期に1回、社員さんは自己評価をし、中尾さんも社員さんの評価をする。社員さんと中尾さんの評価の差を面談し確認していく。④経営理念を多くの方に伝える。社員さんはもちろん、講演や



様々な場所で経営理念を伝える。などを実践されており、経営者と社員さんの距離が近く、自分で考え行動する組織を構築され、働きやすい環境を作ることが離職率0%につながっていると思いました。

今後は、幼稚園と老人ホームの融合や、福利厚生の実、介護業界の質の向上を展望にされていらっしゃいました。

自分の会社だけ儲かればいいという時代は終わり、これからは共に生きる「共生」の時代です。という言葉が心に残る報告でした。

(文責 加瀬 和利)

大村支部 例会報告

日 時	8月18日(木) 18:30
会 場	おおむら夢ファームシュシュ
内 容	家族親睦納涼例会



毎年恒例の納涼家族交流例会として開催されました。この例会は、日頃の同友会活動への理解とそれに対して家族の皆様への感謝の気持ちを込め、そして楽しんでもらうことを目的としています。

シュシュさんのレストランにて美味しい食事を取り



ながら、例会に出席した会員とその家族全員が参加できるゲームやイベントが運営部を中心に企画されてい

る毎回大盛況の例会です。特に今回初めて企画された夫婦参加型のゲームでは、予想をしていなかった（笑）場面も起こり、例年以上の盛り上がりを見せました。

また、例会の最後にはレストランのテラスで花火の打ち上げもあって夏を感じさせてくれる楽しい例会となりました。

このような通常の形式とは違う例会で、参加してもらったご家族の方々にも同友会の愉快的メンバーと活動を少しでも知ってもらうことができ、非常に有意義な会となりました。また今から来年の納涼例会が楽しみです。

（文責 橋口 仁一）

諫早支部 例会報告

日 時	8月17日(水) 18:30
会 場	諫早観光ホテル 道具屋
テ マ	事業継承から40年 ～これから更に後継者へ事業継承～
報 告 者	(株)宮崎電機工業 代表取締役 宮崎 清紀 氏



宮崎さんは昭和48年4月お父様の宮崎電機工業所に入社。確かな技術とサービスで車のバッテリーや自動車電装品（カーエアコン・カーナビ・カーステレオ等）の販売・修理を行っています。

平成6年に携帯電話事業に参入されドコモショップ諫早店をオープン、バブルの追い風にも

乗って順調に売り上げを伸ばし急成長されました。

平成8年にはドコモショップ小浜店もオープンされ現在の売上高は13億円（自動車電装業3億円、携帯電話事業9億円、宝くじ販売1億円）です。宝くじ販売「夢館」で7億円の当たりの出たそうです！！皆様宝くじ購入は小川町ドコモショップ諫早バイパス店隣「夢館」で購入しましょう！

成功の秘訣は「良い商品との出会い、良い教育」だそうです。宮崎さんは毎朝4時30分には会社に出社、トイレの掃除をした後仕事にとりかかるそうです。自分が変わることによって社員も変わり、成長するそうです。

報告を聞いてびっくりしたのは、社員の採用面接を同世代の同性の社員に任せるということです。社員自身が面接し、新入社員をしっかりと自分達で教育、フォローアップする。これが、社員の定着率の向上に繋がっているそうです。

経営理念は「清く正しく美しく」。その通り会社の経営は行なってきました。しかし遊びに関しては別なのか、若い時には大好きな車をかなり乗り回されていたそうです。ほんとうに車が好きなんですね！ぜひ一度一緒にさせてください。

2代目として事業継承されて40年邁進してこれ



ましたが、今年10月1日に長男（常務）に社長を譲られるそうです。ご自身は相談役に退き、経営は全面的に長男に任せて口は一切出さない。相談に来たらアドバイスをする程度にして見守るとのこと。親子の信頼関係の強さを感じます。また後継者のさらなる成長を期待しての決断のように思われました。

事業継承の場合、税金対策も重要な問題です。宮崎さんは、福岡の税理士に何度も通ってウン千万の節税ができたとのこと。そして金融機関との上手な付き合い方や選び方、はたまた税務署職員と仲良くする方法など、実践的な興味深い話もあり、皆熱心に聞き入っていました。

その後のグループディスカッションでは、後継者は現場をこなせるようにならないと、継承はできないのではないかと。一番下から仕事を覚え社員との良い人間関係を築き上げることが大事。自分に息子がいないので娘か娘婿に継がせるのが良いか、また優秀な社員に継がせるのが良いか悩む等々。また園芸農家の会員は、65歳までに事業継承しないと、認定農家の資格が取り消されるので個人で譲るべきか、法人で譲るべきか勉強中とのことでした。誰に継がせるにしても、今の会社を良い会社にしておくことが大事だという結論でした。

宮崎さんは親子喧嘩をしたことがないそうです。相手の話をよく聞いて話し合うことが大事、どうしてケンカをするのかわからない。そして子供に一言、「お前の好きなようにしなさい」それだけ子供を信頼しているのですね。今度は事業継承した新社長の報告を聞きたいと思いました。

（文責 菅 隆信）

島原支部 例会報告

日 時	8月23日(火) 19:00
会 場	HOTEL シーサイド島原
テ ー マ	小規模事業の挑戦 ～地域活性の要は個店にアリ!～
報 告 者	炉ばた大和 代表者 林田 元博 会員



今回、登壇の林田さんは入会3か月でのスピード体験報告、熱い地元愛、人のつながりを大切に考えた経営ビジョンを語られました。

経営理念は「日々精進」今回の登壇を機に作成されたとのことで、林田さんにとっていい機会でもあったのではないのでしょうか。

24年前豪華客船のコックとして勤められたお父様が炉ばた大和を開業されると同時に就労されました。創業当時は勉強をかねて昼は魚屋の手伝い、夕方からは自店でと掛け持ちで下積みを経験され、またフグ料理を提供をする際にも東長崎のフグ料理店「いずみ」へ修行に、また今年にはフグ料理の老舗「春帆楼」大阪阿倍野店へ地元の料理人つながりで勉強に行かれるなど技術・知識の向上へ前向きな姿勢に、私自身も尻を叩かれる思いで拝聴しておりました。

また地域活動にも積極的に参加されており、24歳で西有家町商工会青年部に入会、倫理法人会、地元の特産品そうめんのPR、ソー男・ソー女の会、趣味のランニング。このような仲間との交流が、飲食店と生産者の橋渡しに繋がったり、新商品の開発のきっかけに繋がったりと、林田さんの地域への感謝の気持ち・エール・優しさがまた林田さんへ返ってきているように思えました。

販売戦略の1つとして島原の同業他店とお互いの商品をそれぞれの店で販売、SNSの活用等により売り上げ向上を試みておられる事例の紹介があり、個店が手を取り合うこの取り組みは面白いと感じました。

また勉強にも熱心な方で東京での飲食店向けの経営指針書作成セミナーへ参加されたことを紹介されました。紹介された手法は日本ハムの大谷選手も高校時代

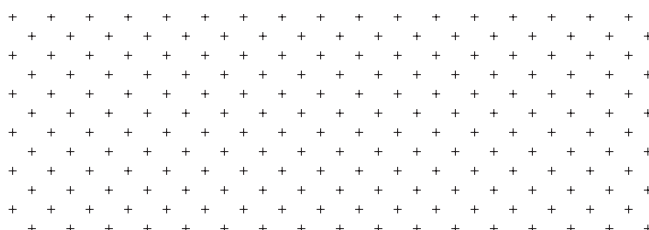


に使っていたマンドラート法(思考方法の1つ)を使った【72の視点から見た経営マトリクス】というもので、概略はここでは割愛させていただきますが、参加者の多くが関心を持たれているようでした。経営指針を策定する際のみならず、人生を考える際にも有効な手法と思えるものでした。

補助金の活用の紹介として小規模企業振興基本法に基づく補助金の紹介があり、有効に利用することで経営内容の改善、地域経済の活性が期待でき、また新しいチャレンジを促す・応援する制度であるので、小規模事業者にとっては心強い制度であることを紹介されました。使う事業者が少ないと制度自体がなくなってしまう危惧があることも併せて紹介されておりました。

最後に小規模事業者の挑戦・チャレンジ・日々の努力・人々のつながりが地域発展に寄与できると確信していることを述べられたことが、今までの林田さんの思い・これからの林田さんの一番の思いであったと思う報告でした。

(文責 河原 邦昌)



佐世保支部 例会報告

日 時	8月19日(金) 18:00
会 場	九十九島ベイサイドホテルフラッグス
テ ー マ	納涼例会 & 同友会を知る会
報 告 者	(株)三好製作所 代表取締役 三好 幸司 会員(香川同友会)



「三好さんの報告を、佐世保支部の皆さんに、是非聞いていただきたいです！佐世保に来ていただけませんか？」全研(中小企業問題全国研究集会)in香川にて、三好さんの分科会に参加した私は、懇親会の席で三好さんをお願いしました。「自分で良かったら喜んで！」と即答して下さった三好さん。ご多忙中、遠路はるばる佐世保まで、本当に来て下さりました！

起業して半年間売上ゼロ。そんな中での同友会との出会い。同友会の活動に対しNOとは言わず積極的に参加。勧められるがままに経営指針を創る会にも参加し、経営理念と指針書の完成。その後、新卒雇用を決定。10年後のビジョンは「10人のスペシャリスト集団を作る事」と語る三好さん。同友会プログラムをフルに活用され会社を発展させている三好さんに沢山の事を学んだ報告でした。

全研後に支部長に就任され、会社も新しい雇用が決定し、同友会活動と自社経営共に前へ前へと突き進む三好さん。「同友会と自社経営は不離一体」資料とし

て準備して下さった不離一体シートは、それを実践して来られた事を物語っておりました。

何度か例会に参加されている、オブザーバーの方が仰った事…「同友会って、月に1回集まって勉強会をされている会と思ってましたが、他にも色々な活動や取り組みをされているのですね。初めて知りました！」同友会に多くの学びがある事を知っていただき、本当に嬉しかったです。そして、その日のうちに3名が入会を決意されました。

今回の報告で、同友会活動において多くの学びやプログラムがある事を、たくさんの方に知っていただきましたので、「同友会を知る納涼例会」は大成功だったと思います。

(文責 村上 敦子)



北松浦支部 例会報告

日 時	8月25日(木) 19:00
会 場	サードベースカフェ
内 容	納涼例会

暑さもやや弱まりつつある晩夏の一、支部の仲間達が集い、元気一杯、且つ、なごやかに納涼例会を開催した。場所は、平戸市田平町のサードベースカフェ。細い田舎道をひた走りに走って開けた湾内、そこに、

古民家風のレストランが、ひときわ存在感を放っている。今日は、貸切でバーベキュー。

まずは、担当の立木仲間づくり委員長が開会の挨拶、そして池野支部長の挨拶と乾杯の発声。支部長挨拶は、終わったばかりのオリンピックから、過去最高のメダルの数について、「メダルが取れた理由はコーチングの効果という分析がある。ビジネス分野におけるコーチングの重要性を再認識させられた。」という内容。いつもながら、支部長の挨拶は、時事に敏く、示唆深い。

そして、県仲間づくり委員会から、西山委員長と庄



司副委員長が出席され、キャラバンが行われた。遠路はるばる、北松浦の地へお越しいただき、ありがとうございました。

オブザーバーも数名参加され、起業志望の若者もいて、北松浦の底力を感じさせる頼もしい例会となった。

終盤は、お店のマスターが半年前に結成されたアマチュアバンド

のミニコンサートを開いて下さった。心に響く静かな歌声で、夏の夜のひと時、世俗を離れ、心を「無」にしてくれるような、しっとりとした潤いのある時



間が流れた。

突如、庄司さんが、昔取った杵柄、ギターの生演奏で、飛び入りの舞台。同級生の私は、求めに応じて、カホンという手作りの楽器を、見よう見まねで叩き、リズムを取る。何ともほのぼのとした演出であった。庄司さんに感謝。

最後は、堤副支部長の「商売繁盛！」の掛け声の後、「大繁盛！」と唱和して、終了となった。嬉しい団結力である。北松浦支部ここにあり！

これからも仲間を大切に、絆を深め、社業の発展と地域貢献、お互いの気付きの場となれるよう、同友会によって生かされ、また同友会を守り立てていきたいと熱く思った次第である。

(文責 宮田 京子)

五島支部 例会報告

日 時	8月19日(金) 18:30
会 場	椿茶屋
内 容	納涼例会



今月の例会は納涼例会ということで、囲炉裏で五島の美味しい食材を焼きながら懇親を深める例会でし



た。

大塚実行委員長はじめフォーラムキャラバン隊と仲間づくり委員会からも3名来島いただき、大いに盛り上がった例会でした。

そのようなお酒の席でも大塚実行委員長はキッチリとフォーラムの動員をプッシュしていただき、五島支部としては目標以上の人数でフォーラムに参加できそうです。

また西山仲間づくり委員長におかれましてもオブザーバーの方を猛勧誘していただき、新入会員が獲得できました。

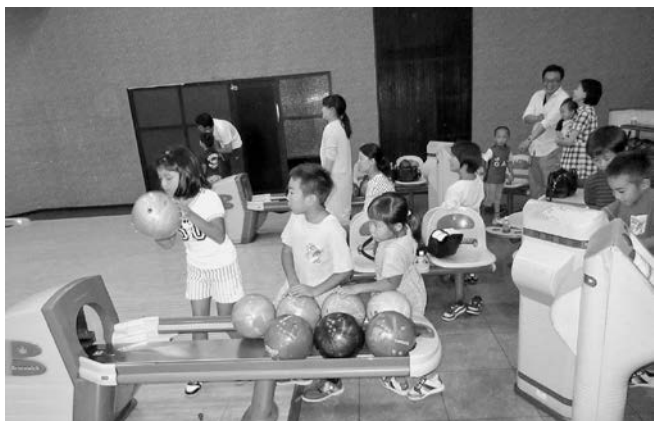
今後も五島支部として地道に会員増強していきなが

ら活発な活動を目指していきたいと思います。

(文責 勝本 政裕)

青年経営者会 例会報告

日 時	8月28日(日) 16:00
会 場	長崎ラッキーボウル & かりーによ
内 容	サマーイベント



「ポカした。あーポカした。」橋本は暗い部屋で、佐々木健介のモノマネをするくりいむしちゅー有田の真似をして独りつぶやいた。ボウリング大会の予約が、どうも行き違いがありうまくできていなかったらしい。「仕方ない。明日みんなに連絡して時間を変更してもらおう。」大会の二日前、金曜日の夜中だった。

こんな感じで始まった青年経営者会8月サマーイベントでした。8月終わりの土曜日にホテルでバーベキューが毎年恒例だったのですが、今年は新しい試みとして日曜日の16時から長崎ラッキーボウルでボウリング大会、その後18時30分から塩見さんのお店「かりーによ」にて懇親会という流れにしました。

中尾陽一郎さん家族にも参加していただき、会員7名、奥様4名、子ども9名が集まりました。ボウリング大会ですが、橋本は仕事の都合で遅れて合流しました。今回は奥様と子どもをメインに考えるようにって

言っていたのに、旦那衆は全員ビールを飲んでいました。旦那レーン、子どもレーン、奥様レーン、混合レーンに分かれて投げました。子どもたちもあっという間に仲良くなっていました。奥様方は、日頃のストレスなのでしょうか、ものすごい球速で投げていました。約2時間で2ゲームを投げ終え、城山町のかりーによに移動しました。

ボウリング大会の結果ですが、子どもの部では女の子が上位3位独占でした。今回長崎出島支部の李泳勲さんからボウリング大会の景品として、紙で作る動物の模型を提供していただきました。それを1～3位に贈呈し、他の子たちには参加賞を渡しました。大人の部は1位安井さん、2位中尾さん、3位が飛田さんの奥様でした。

懇親会も美味しい料理とお酒を楽しみながら盛り上がりました。奥様同士の交流も図れたのではと思います。また、事前にアレルギーがある子どもの話もしており、アレルギーを使わない料理も別に用意してもらいました。塩見さん、対応ありがとうございました。

懇親会後は松山の競技場に移動し、花火をしました。なぜかランニング大会も始まり、子どもたちのパワーに圧倒された一日でしたが、良い夏の思い出になりました。

(文責 橋本 裕次郎)



2016組織強化・広報・情報化全国交流会 参加報告

開催日：8月25・26日(木・金) 会場：大田区産業プラザPIO



本交流会の目的は①同友会づくり・企業づくり・地域づくりを一体として取り組む組織強化のあり方を学び、全国5万名達成に向けた契機とする ②広報情報化に取り組み、会員の声や情報を集めて「情報創造」し企業を変え、地域を変えていく対外発信や対外関係づくりを通して行う同友会役員としての役割を明確にする ③同友会の総合力を高める組織強化と活性化など同友会づくりの課題を学び合う、と位置付けられています。2日間を通し、5万名達成に向けて、組織強化に関する各地同友会の先進実践事例の報告を受け、グループディスカッションを行いました。

なぜ拡大が必要なのか。「同友会理念を実践し、自社がよくなる。そのような企業が1社でも多くあると地域が活性化する」。あらためてその意味を確認することができました。会員が増え組織が大きくなるとそれぞれの役割をより明確にする必要があります。ここで重要なキーワードが「自主運営」でした。

「例会や役員会などを事務局に頼らず自主運営することで会員（特に役員）は自覚が芽生え、『同友会運動と企業経営は不離一体』が実践されていく→実践されると自社もよくなると同時に、事務局が運営に関わらない分、事務局業務において残業時間の短縮等の労働環境の向上（労使見解をベースに運動のパートナーとしての位置付けを明確にする）および、企業訪問等を通して情報の蓄積（シンクタンク化）など質の高い仕事に取り組む環境が構築される」

このようなサイクルで運動を展開することを一つの形として構築する必要があるということを学ぶことができました。そのためにも今組織強化のために抱えている課題を全て抽出することが大事だということ、併せて組織を強化するために対内・対外的に情報を発信し運動の様子や現状を広報、報道することの必要性も学ばせていただきました。



8支部ある長崎同友会は例会の運営（受付やレジュメ作成、e.doyuでの案内発信等）は基本的に会員の自主運営で行われています。また金融機関に掲示いただくポスターや会員之章の作成、仲間づくりのツールとしての紙芝居や動画、HPなど様々な面で実践されていることが多いと思っています。この環境を最大限に生かし、会員（特に役員）と事務局が「自主・民主・連帯の精神」で組織を強く、地域を盛り上げる主体者としての自覚と覚悟と誇りが必要だと強く感じた交流会でした。

そして交流会の中でも紹介がありましたが、あらためて「同友会運動の発展のために」の書籍を読み返すと、ひとつひとつの意味や理由が書かれていることがわかります。2016年3月に刷新されたこの“同友会役員のテキスト”を活用し、実践することで1社でも多くの会員企業、そして地域がよりよくなるために、事務局としても実践、会への問題提起を続けていきたいと思っています。

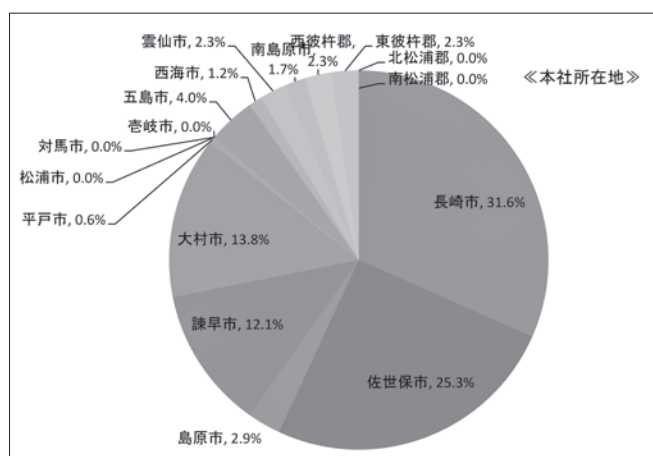
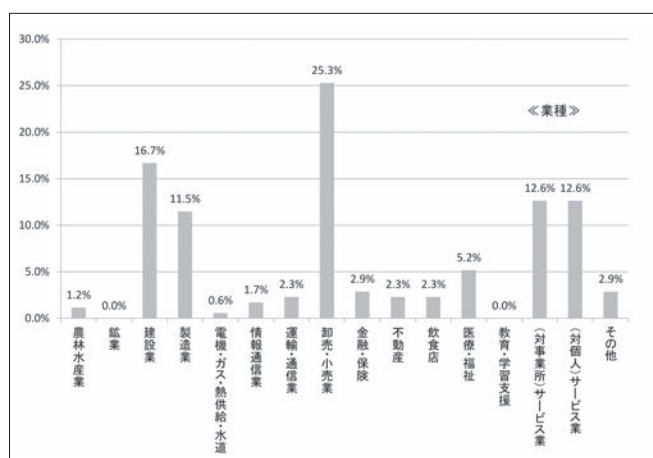
(文責 事務局 峰 圭太)



第5回 景況調査 結果報告

第5回目となる景況調査回答へのご協力ありがとうございました。正式な分析に関してはあらためて発表いたしますが速報および簡易分析として下記ご参照ください。今後政策委員会では会員の皆様からいただいた景況調査の結果を、どのように企業経営に生かすことができるかについて議論を重ねていきます。

- ・第4回174回答と前回210回答を比較し本社所在地の大きな変動はない。
- ・業種に関して、前回に比べ卸売・小売業が多かったが資本金の内訳は前回とほぼ同じ。しかし、資金繰りに関しては「やや窮屈」の割合が増えている
- ・景況感についてはほぼ大きな変動はなく横ばいの企業が多い
- ・経営上の問題点は引き続き「人材確保難」「民間需要の停滞」が上位
- ・現在の重点項目とこれからの重点項目を比較すると



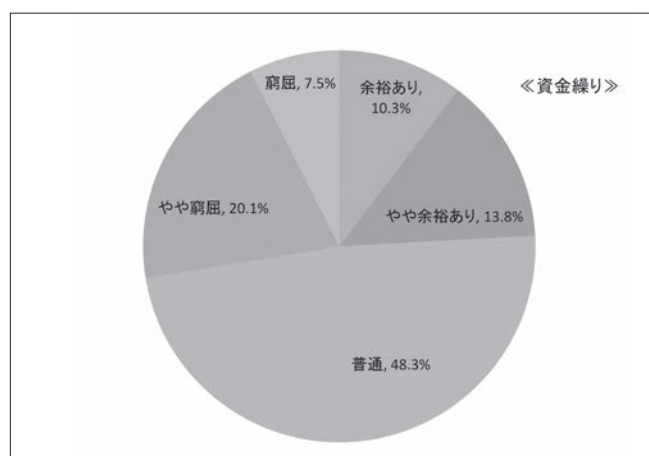
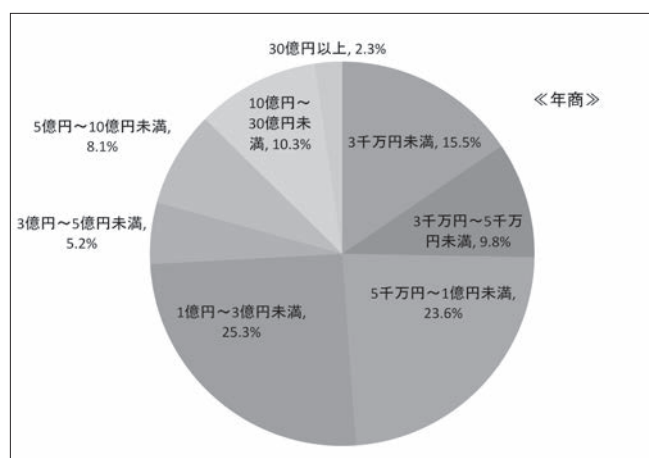
現在…①人材育成 ②新規顧客の開拓 ③人材確保
④営業力強化 ⑤新商品等の開発

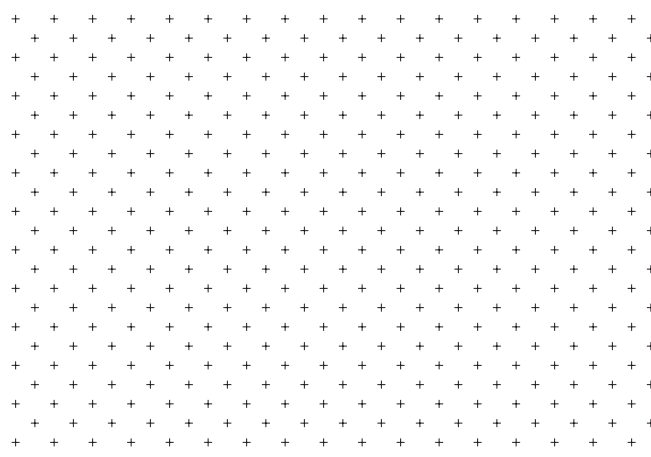
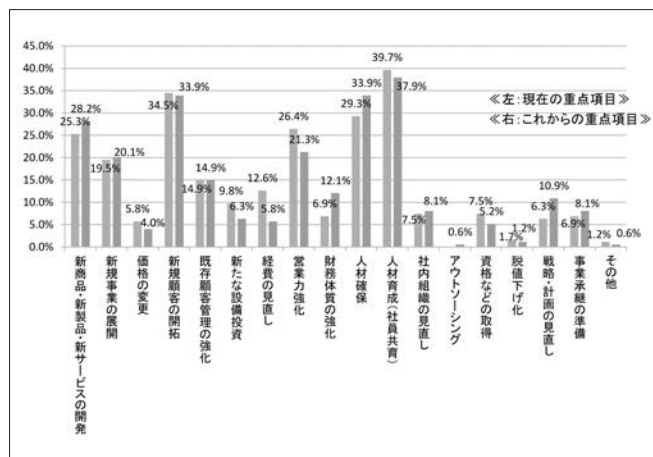
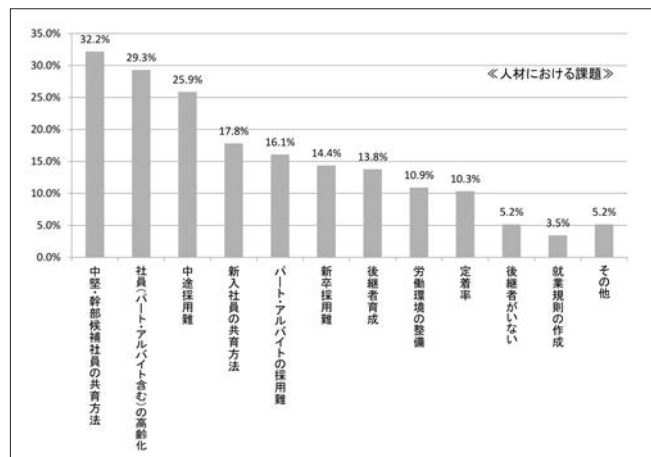
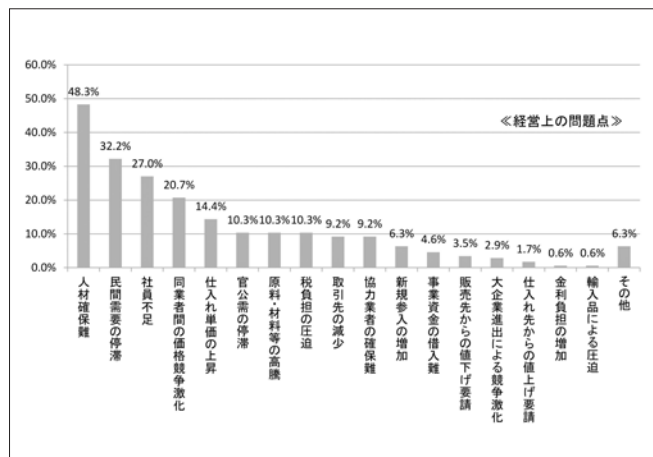
これから…①人材育成 ②新規顧客の開拓 ③人材確保
④新商品等の開発 ⑤営業力の強化

となっており、現在、これから、どちらも上位5つの重点項目は同じ

- ・人材における課題に関して、引き続き「中堅・幹部候補社員の共育方法」がトップにあり、かつ、30%を超えている。「社員の高齢化」「中途採用難」も継続課題。上位3つの並びは変わっていないため、社員の高齢化に伴い、中堅・幹部候補の社員共育を検討するもその方法が課題と推察できる
- ・社員数について、174回答における役員を含む正規社員数の合計は3,647人、派遣、契約社員を含むパート・アルバイト数は2,119人。合計5,766人となっている

(文責 事務局 峰 圭太)





＜景況感＞

	2016年1～3月期と比べて			2015年4～6月期と比べて			2015年7～9月期と比べて		
	増加	横ばい	減少	増加	横ばい	減少	増加	横ばい	減少
売上高	27.6%	50.0%	22.4%	29.3%	48.3%	22.4%	27.0%	54.6%	18.4%
経常利益	好転	横ばい	悪化	好転	横ばい	悪化	好転	横ばい	悪化
	20.1%	61.5%	18.4%	21.8%	55.8%	22.4%	19.0%	60.9%	20.1%
業況判断	好転	横ばい	悪化	好転	横ばい	悪化	好転	横ばい	悪化
	16.1%	61.5%	22.4%	16.1%	62.6%	21.3%	16.1%	66.1%	17.8%

＜役員を含む正規社員数＞

0人	1～9人	10～19人	20～29人	30～39人
6	92	29	13	8
3.4%	52.9%	16.7%	7.5%	4.6%
40～49人	50～59人	60～69人	70～79人	80～89人
8	0	0	3	5
4.6%	0.0%	0.0%	1.7%	2.9%
90～99人	100～199人	200人～		
3	7	0		
1.7%	4.0%	0.0%		

＜派遣、契約社員を含む臨時・パート・アルバイト数＞

0人	1～9人	10～19人	20～29人	30～39人
55	82	12	6	4
31.6%	47.1%	6.9%	3.4%	2.3%
40～49人	50～59人	60～69人	70～79人	80～89人
3	2	1	1	2
1.7%	1.1%	0.6%	0.6%	1.1%
90～99人	100～199人	200人～		
1	4	1		
0.6%	2.3%	0.6%		

＜全社員数（正規＋パート・アルバイト）＞

0人	1～9人	10～19人	20～29人	30～39人
3	70	41	16	10
1.7%	40.2%	23.6%	9.2%	5.7%
40～49人	50～59人	60～69人	70～79人	80～89人
6	5	0	2	2
3.4%	2.9%	0.0%	1.1%	1.1%
90～99人	100～199人	200人～	300人～	
4	9	4	2	
2.3%	5.2%	2.3%	1.1%	

V・ファーレン長崎

応援マツト

ダスキン栄進 電話 095-823-7633

瀧川 隆 会員（長崎出島支部）

広告募集

＜4cm×9cm＞

複数月 割引	6ヶ月	12,000→10,000
	4ヶ月	8,000→7,000
	3ヶ月	6,000→5,000

情報広報委員会 in 五島 開催報告

開催日時：8月20日(土) 11:00 会場：(同)メディアウェブ



情報広報委員会は、毎月一回委員会を開催し広報誌の作成を中心に会内外の情報についての会議を行っています。

例年、毎月の委員会は長崎市の同友会事務局にて行う事が多いのですが、今期はなるべく各支部をまわり委員会を開催しようという事となり、8月は五島にて開催することとなりました。

会場は五島支部の情報広報委員長の勝本さんのオフィスをお借りし開催しました。委員会終了後に感じたことは、いつもと違う意見がでたり、活発でよりスムーズに話し合いが行えたという事でした。

今回のようにいつもと違う場所や雰囲気のかな、会議や話し合いを行うと、自分の気持ちも変わるのだなという事、それにより活発な話し合いが行えるのだなと感じました。



委員会終了後にせっかく五島に来たのだからと皆で少し観光をという事で大瀬崎公園などを回りその後懇親会も行い、大瀬崎の絶景、美味しい魚料理と会議後も充実した

委員会となりました。

今後も各支部を回りながら委員会を開催し委員と親睦を深め、より良い情報を会員の皆様に届けることが出来ればと思います。

(文責 佐世保支部 府川 正樹)

諫早支部 新商品開発チーム 第2回 意見交換会 開催報告

開催日時：8月2日(火) 19:00 会場：諫早観光ホテル 道具屋

この新商品開発チームは、諫早支部産学連携委員会のなかで、2月に立上げたもので、今回が2回目の意見交換会となりました。

第1回の意見交換会をきっかけに実際に新商品開発に取り組まれた3組の方に事例報告という形で報告していただき、グループディスカッションで意見交換を行うという通常の例会方式で行いました。

事例報告の一組目は、小柳畳商店の小柳 竜士さん(諫早支部)と(有)アーテック工房の林田 雅博さん(大村支部)が、畳と炭を使った商品の開発の報告をされました。このお二方は、第1回の意見交換会をきっかけに、畳と炭という全く繋がりが想像できないところ

を、畳で作った「あぐら」という商品に炭のシートを入れることで消臭機能を持たせるという商品を開発されました。現在、専用のケースなども思案され、贈答用としての販売も考えられているそうです。まさに、同友会でいうコラボの実践ではないかと感じました。

事例二組目は、(有)スギセイフーズの杉本誠二郎さん(諫早支部)の報告でした。杉本さんは、3年ぐらい前に独自で考えて開発され、結果当時はうまくいかず眠らせてきた商品をこの商品開発チーム立上げをきっかけに、再びチャレンジされました。現在は試作段階。地元諫早の目玉商品となるように奮闘されています。※具体的な事は、試作段階の為、控えさせて



いただきます。今後が楽しみであり、チームとしてもこの商品が実現するように応援していきたいと思えます。

事例三組目は、長崎そうめん末永 末永 義邦さん（島原支部）の報告でした。末永さんは、「もったいない」をキーワードにそうめん作りの際に出てくるそう

めんの切れ端を使った煎餅の開発をされました。また、市販のとんこつスープ等を使った、とんこつ味のそうめん、しょうゆ味のそうめんも試食として出されまし



た。普段とは違ったそうめんの食べ方、そうめんという商品をいかに美味しく食べる事ができるかを試行錯誤されていると感じました。

2月に立上げた新商品開発チームですが、色んな形で、新商品の開発が活発に行われており、今後が本当に楽しみです。

産学連携委員会では、次回から、杉本さんの事例のように、以前新商品に取り組みながらも、うまくいわず在庫が眠っている方などを中心に声をかけ、眠っている商品を新しい商品に替えて販売していく方法などを委員会を中心に考え、会員さんの力になればと思っております。

（文責 諫早支部 産学連携委員長 廣谷 慎也）

社会福祉法人 宮共生会(佐世保支部 原田会員)経営計画発表会 参加報告

開催日：7月30日（土） 会場：ホテルオークラ JRハウステンボス



【参加者の声】

1. (株)長崎地研 村山 隆之

社会福祉法人という組織形態の中で、昨年に引き続き経営計画発表会を開催する原田良太さんには感服い

たします。社福と云う組織ということもあり、トップダウンにこのようにやるんだという発表会ではなく、各部門長が事業内容と方向性を発表し、残りの大半の時間を個人目標の発表というものでした。

仕事上の目標・その他の目標・生活を充実させるために取り組んでいること・同僚に陰ながら応援してもらいたいこと・職場の雰囲気良くするための自分の役割等の内容であり、本当に各人に光を当てた発表会とを感じるものでした。このように職員ひとり一人を大切にする発表会をこれからも継続していけば、これから素晴らしい法人になると思います。これからもガンバレ宮共生会！

2. (有)エムズ 川下 眞文

経営計画発表会での準備と発表を全員にしてもらおう事で、理念・方針を浸透させ共有出来、10事業所を

束ねていると感じましたし、各事業所所長は十分に事務局長と同格の資質を備え「ミッション・ビジョン」に向け、日々努力してらっしゃる様子が伺えました。中期ビジョンが明確化されているので今後も益々発展されることでしょう。個人目標では全員緊張される事なく上手に発表されました。

3. なかの人事労務事務所 中野 さとみ

素晴らしい経営計画発表会でした。参加させていただきありがとうございました。意見としては3点です。・各事業所の事業計画について平成27年度の評価・各事業所の事業活動場面の写真（写真があるとイメージしやすく、より理解が深まるかと）・平成27年度で個人目標の設定、発表を行ったことで法人としてどのような効果があったのかという点があると良いなと思いました。

4. (株)福祉工房K's 豊福 和明

理念・ミッション・ビジョン・中期経営計画の実現



に向けての、今年度の取組み事業「スマートウェルネス事業」大変楽しみな事業内容であり、ワクワクさせられます。小学生から高齢者、障がいを持った子どもたち多世代を巻き込んだ交流により地域コミュニティを活性化出来、地域に根差した施設構想。

まさに、当法人が目指す理想のビジョン。これから、沢山学ばせていただきたいと思います。

佐世保支部イベント部会 第2回イベント「壱岐大大神楽体験」開催報告

開催日：8月6・7日（土・日） 会場：壱岐



今回はイベント部会初の一泊二日旅行で壱岐へ神楽を見に行くという企画でした。

壱岐に到着後、神楽が始まるまでの間にまず壱岐大大神楽や壱岐について学ぼうと、壱岐市立一支国博物館へ。そこで壱岐大大神楽が昭和62年1月、国指定重要無形民俗文化財の指定を受けたことや、神楽がとても神聖なものだという事を知りました。恥ずかしながら私は神楽をテレビのニュースぐらいでしか見た事がなく、神楽がどんなものかも良くわかりませんでしたので、実際に神楽を見る前に学べてとても良かったと思います。



神楽は18時から0時まで約6時間行われますので、博物館を見た後は先に食事を取る事に。美味しい魚を食べメインイベントの壱岐大大神楽へ、6時間と長いので飽きるかなと思っていましたが、壱岐の神楽の曲目は全部で33番までであり一つ一つの曲目にストーリーがあり曲調や踊りも様々で飽きる事無く見ることが出来ました。とても素晴らしかったです。今回の8月に行われる神楽は浜辺の野外ステージで行われ夏のイベントという位置づけですが、毎年12月に住吉神社にて奉納が行われるそうでこちらが本番と言う形になっているそうです。地元の方曰く12月は神聖な



奉納なのでまた雰囲気の違いがとても良いと言われていました。12月もぜひ見てみたいと思うような貴重な体験でした。

神楽が終わり2日目は猿岩や鬼の足跡、砲台跡、志岐の神社巡りなど志岐の観光スポットを巡り楽しみました。

とても充実した2日間で素晴らしい体験ができました。これからもこのような交流イベントを行い会員の



親睦を深める事が出来れば最高です。

最後に志岐には神社が大小合わせて1000社以上あり、神々の宿る島と言われ島全体がパワースポットだそうですので、皆さんもぜひ志岐へ行ってみたいかがですか！？

(文責 府川 正樹)

事務局企業訪問

今回は大村支部例会副委員長また、県の仲間づくり副委員長としてご活躍の谷信一郎さんにお話を伺いました。



＜支部の仲間づくり委員長を通して＞

お話しの中で、谷さんにとって一つの転機は大村支部の仲間づくり委員長を拝命されてからだと感じました。

2010年の入会后、例会や委員会活動への参加はまちまち…。2014年度から当時支部長の大塚真一さんや現支部長の上谷さん、当時仲間づくり委員長の

首藤さんとの食事の中で「絶対断るつもりだった」という仲間づくり委員長の役を受け、そこから同友会活動と企業経営の改革が本格化していきます。

大村方式での経営理念作成、増強キャンペーンでの委員会セミナー開催など同友会活動を通して「仕組みをつくること」の大切さを学び、自社経営にも生かしています。そのような谷さんですが会社の成り立ちは必然とも言える偶然だったようです。

＜恵比寿組から(株)恵比寿組へ＞

もともと水道工事を営む会社で働いていた谷さん。しかしその仕事が嫌で2001年に退職(当時すでに3人の子宝に恵まれていました。今は5人のお子さんがいます)。生活のために派遣の仕事やアルバイト、前職のご縁から個人的に水道工事を請け負う等、とにかく生活を繋げる日々。個人で収入を得ていたため、確定申告が必要、税務署で申告をする際、担当から「開業届を出してくれ」と言われます。迷った谷さんはその場で「知り合いが『福組』という屋号で仕事をしている。縁起良く自分は『恵比寿組』でいい」と決断、これが今の会社の前身となる恵比寿組の誕生の瞬間でした。

新築住宅やマンション、老人ホームの水道工事業をメインとする個人事業としての恵比寿組は少しずつ業績を上げていきますが、2009年、リーマンショックの影響からか仕事が激減、当時3名いた社員も退職してい

ます。

一人で細々と仕事をするという選択を考えた谷さんでしたが、「今のままではだめだ」とスイッチを入れなおし、自宅兼倉庫（事務所）から別に土地を借り、将来入ってくるであろう社員のために事務所を構えました。そして建設業の指名業者となり、公共工事の入札に参加するため、また社員のために社会保険をつけてあげたいという想いで法人化を決意します。

2013年に法人化し、現在3期目。今や社員は3名になり、社員が幸せな生活が送れるよう日々社内環境の改善に努めています。その根底には経営理念がしっかりと谷さんの想いを支えています。

<経営理念の共有～今後のビジョン>

「今の経営課題は仕組みづくり」。何度も谷さんは繰り返しました。まずは社員と経営理念を共有し、何のために仕事をしているのかを自分に問う環境づくり。そのために初めて取り組む毎月1回の会議を計画しました。7月から開始したこの会議では社員自らが各現場の実行予算をつくり進捗状況を報告し共有する目的があります。アドバイザーとして大村支部の宇土さんにも参加いただき継続して開催することでリーダーとしての自覚をもっていただく。今は谷さんをリーダーとする一つのチームですが、社員をリーダーとする別のチームが2つ、3つと増えていくことで会社組織として機能させるというビジョンを持っています。

「同友会に入っていなければ自分はまだきっと迷走している」笑顔で話す谷さん。自社の弱みを分析し、同友会で得た学びや人脈を活用、実践し克服していく。



谷さんにとっての仕組みづくりは「よい会社」「よい経営者」「よい経営環境」実践のための一番の近道であると感じた企業訪問でした。

<(株)恵比寿組>

「経営理念」

一、私達は水のプロとして皆様の安心・安全・会的な環境作りに貢献します。

一、私達の幸せな人生を実現するために共に成長していきます。

大村市池田2丁目1383-2

電話：0957-52-6156 FAX：0957-47-8964

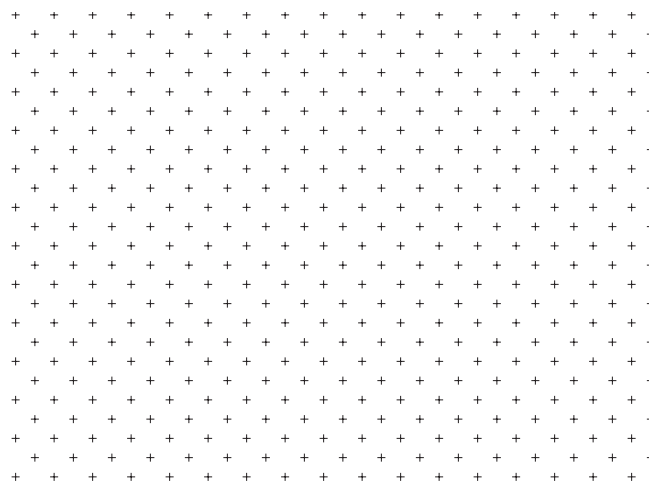
（文責 事務局 峰 圭太）

新入会員の皆さんです<8月入会>

（敬称略）

<入 会>

支 部 名	長崎出島支部	
氏 名	ながいし いっせい 永石 一成	
企 業 名	F.デザインNAGASAKI(株)	
役 職 名	代表取締役	
企 業 住 所	〒850-0831 長崎市鍛冶屋町4-13 山下ビル1F	
T E L	095-893-6860	F A X 095-893-6870
業 種	飲食業	
企 業 P R	長崎市内に4店舗、飲食店を展開させていただいています。どの店舗も個性的な店ばかりですので、お近くにお越しの際は是非お立ち下さい。	
スポンサー	萩田 実	



会員活躍

長崎新聞 8月26日 大村支部 初 穂隆 会員

水着のラムネ

刺激的

大村市中里町の道の駅「長崎街道鈴田峠」内の飲食スペース「峠のCafe」が、ラムネが水着を着たように見える「ラムネノムネBeach Girls」の販売を始め、注目を集めている。

「峠のCafe」で販売 大村

店長の初さん考案 大村



障害者雇用にも貢献

同店店長で、デザイナーの初穂隆さんが、同市内で初となる道の駅として3月にオープンした鈴田峠（なつたがし）では、オリジナル商品を作ろうと、約1カ月前に考案した「ラムネノムネ」は方言の「ラムネ飲むね」の意味。ボトルを人に見立てて、シールを貼り水着を着せてみたという。シールを手貼りする作業は障害者雇用で、早くと、諫早市内の障害者施設に委託。ラムネは一本50円で全6種類、手揚げ袋（左海力也）

水着を着たラムネ「ラムネノムネBeach Girls」を作る 大村市

長崎新聞 8月28日 大村支部 徳田 信義 会員

九州地区豆腐品評会 大村の九一庵 が銀、銅賞

九州で一番うまい豆腐を決める品評会「第1回九州・沖縄地区豆腐品評会」（8月21日、福岡市）で、大村市東大村2丁目の九一庵食品協業組合の「濃くコク豆腐」と「九州一絹ごし豆腐」が銀、銅賞を獲得した。

品評会は木綿豆腐、絹ごし豆腐、寄せざる・おぼろ豆腐、充填（じゅうてん）豆腐の4部門があり、40社が出品。充填豆腐部門で「濃くコク豆腐」が銀賞、絹ごし豆腐部門で「九州一絹ごし豆腐」が銅賞を受賞した。金、銀、銅賞の商品は10月に熊本市で開かれる「第2回全国豆腐品評会」に出品される。

九一庵の徳田信義理事長によると、豆腐の素材となる大豆は厳選した九州産のフクユタカを使用。多良山系の良質な水と、五島灘の海水から採取したミネラルたっぷりのにがりを使って製造している。徳田理事長は「価格ではなく味を追求する姿勢が一定の評価を得た」と喜びを語った。（左海力也）



銀賞の「濃くコク豆腐」（左）と銅賞の「九州一絹ごし豆腐」＝大村市役所

長崎新聞 9月8日 長崎浦上支部 荒木 健治 会員

2社2法人に感謝状 オフィシャルパートナーで県



ねりんピック
長崎 2016



感謝状を受けた荒木社長（左から2人目）ら＝県庁

県は7日、第29回全国健康福祉祭ながさき大会（ねりんピック長崎2016）を支援する県内の2社2法人に、オフィシャルパートナーとして感謝状を贈った。

100万円相当額以上を協賛したチョープロ（西彼長与町）の荒木健治社長、メモリード（同）の吉田昌敬副社長、県信用保証協会（長崎市）の岩本公明専務理事、花のおもてなし事業に助成する公益財団法人松園尚巳記念財団（同）の松

下貴成常務理事が、県庁で濱本磨毅副知事から感謝状を受けた。荒木社長らは「先輩世代の頑張る姿で、県内を元気づけてもらいたい」と述べた。

オフィシャルパートナーは7日現在、7社2法人。ねりんピック長崎は10月15・18日、県内15市町で26種目のスポーツ・文化交流大会などを開く。

（関根めぐみ）

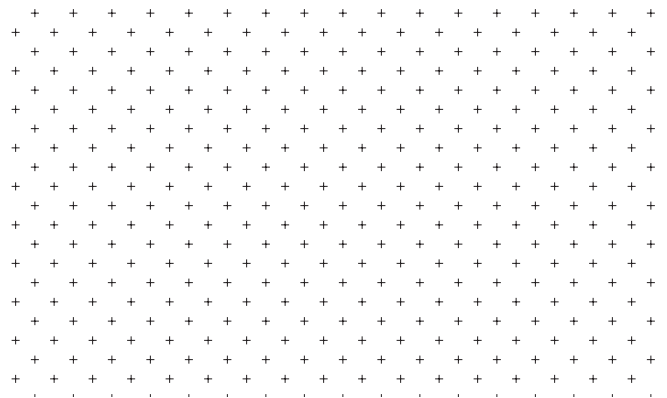
10月例会案内

(掲載がない支部は経営フォーラムを例会に充当)

●北松浦支部

日 時 10月20日(木) 18:30
会 場 サンパーク吉井
テ マ 経営者は身なりから
ビジネスシーンでのスーツの着こなし術
報 告 者 L'ECRIN(レクラン) 代表者
江頭 知裕 会員

経営者は身なりから、あなたのスーツの着こなしは大丈夫? オーダースーツをL'ECRINへ実際に注文し、生地選びからスーツの形・流行りなどスーツ選びのイロハを学ぶ。また、ビジネスシーンで役立つスーツの着こなしかたも徹底レクチャー!!



9月理事会 議事録 抜粋

2016年9月1日(木) つくば倶楽部

開会挨拶ー松尾代表理事

まずは10月の経営フォーラムを成功させましょう。また9月の役員研修会にもぜひ参加をお願いします。対象者の1/3ほどの出席となっていますので、皆さん声掛けをお願いします。

仲間づくりについて

ー5名の入会、1名の交代を承認

西山仲間づくり委員長総括ー

8月までに仲間づくり委員会キャラバンとして全支部を回りました。8月は北松浦と五島を回り、オブザーバーにも声掛けて大村での経営フォーラムの紹介もしています。五島支部では1人の入会申込が決まったようです。仲間づくり委員会ではなぜ仲間づくりが必要かと話をして、会員の方と一緒にやっていこうと声掛けをしています。経営フォーラムを終えると、会勢も600名を超えと思っています。各支部の仲間づくり委員の皆さんにはフォローのお願いをしたいと思います。また、8月は退会者がいなかったことが良かったと感じています。そしてプラスワンを必ずお話しするようにしていますので、ご協力をお願いします。

協議・承認事項

1)第23回経営フォーラムについて
(前回までの決定事項)

10月6日(木)シーハットおおむら、記念講演ー法政大学坂本光司氏、4分科会、懇親会会場はパークベルズ

テーマ案

「長崎の明日(みらい)を切り拓くのは、人を生かす経営の実践だ!!」
・組織図
・行程表

	第1分科会 (経営戦略)	第2分科会 (社員共育)	第3分科会 (障がい者雇用)	第4分科会 (経営指針) ※見学分科会
報告者	熊本同友会 田中 芳和 会員	長崎出島支部 土井 幸喜 会員	大村支部 宮田 正一 会員 きらく大村 丸山 和美 氏	大村支部 徳田 信義 会員
座 長	熊本同友会 田崎会員	長崎浦上支部 松本 一孝 会員	長崎出島支部 中村 公会員	大村支部 金井 政春 会員
室 長	大村支部 竹中会員	大村支部 吉尾会員	大村支部 北村会員	大村支部 出口博会員

・予算案(参加費7,000円、協賛金額2,000円×133口を含む)
・チラシ案
・各分科会報告テーマ
第1分科会…「経営指針の作成と自己と自社の成長」～我社の経営

戦略は社員の力の集結につきる～

第2分科会…ミッション経営の実現～人は「何を」ではなく「なぜ」で動かされる～

第3分科会…小さな一歩を踏み出しました～初めての障がい者雇用～

第4分科会…経営指針～豆腐業会ナンバーワン企業を目指して～

・当日スケジュール

・来賓リスト

・名刺広告について、最大2枠までとし名刺のみを掲載する

・第4分科会は見学分科会のため、12:30集合とする

(今回確認事項)

・フォーラムノートの確認、協賛について、キャラバンの再依頼、バスについて、

→フォーラムノートについて確認、内容の詳細に関しては最終の修正を実行委員会へ一任とすることを承認

→キャラバンの再依頼について、目標に届いていない諫早支部と佐世保支部に関して、再度キャラバンを行うことを両支部に確認。また島原支部、北松浦支部に関して、当初の予定通り9月例会時にキャラバンを行うことを確認

→バスについて、

・実行委員会で一括して手配を行うことを確認

・五島支部は長崎市からのバスを利用することを確認

2)9月10日(土)役員研修会について

(前回までの決定・確認事項)

・9月10日(土)13:00～道具屋にて開催

・①同友会の歴史と理念…泉相談役、②企業内実践と企業づくり…金井副代表 ③それらを受けて総括と役員の役割、同友会の組織づくり…松尾代表からそれぞれ報告いただく

・式次第、予算案

・1部のまとめを辻村副代表理事

・各支部役員会で出席の声かけを行う

(今回提案・確認分)

・式次第案。座長制とし、室長を田口事務局員、座長を西村専務とする。第1部のまとめを引き続き座長の西村専務、懇親会終了後の挨拶を辻村副代表とする。グループディスカッションテーマ内、「役員としてどう取り組むか」部分に関しては、自分がどう取り組むのかということではなく、理想像としての役員の在り方を討論。その旨、事前にグループ長に説明を行うと同時に、当日座長の西村専務より説明。広報誌報告は辻村副代表とする。その他理事会後に調整が必要な事項については三役一任とする

→上記を承認。

(金井副代表)年々参加者が減っています。各支部長には電話しましたが、1人でも2人でも多くの参加をお願いします

3)11月理事会時「公平な税制をめざして」資料学習会について

(三役会案)

内容に関してボリュームがあることから、10月理事会より3～4回シリーズで学習会を行う。9月理事会時は冊子の「1」部分を各理事に読み込んでいただき10月理事会で質問形式をとりながら石橋

財務委員長から説明いただく。開始時間は１９時～とする
→三役会案を承認

４）２０１６年度ながさき経営人材育成塾について
→有料のセミナーのため理事会で内容を確認
→案内を承認

５）第１回理事選考委員会の結果を受けて
→本理事会前に第１回理事選考委員会を開催。全会一致で現松尾代表理事を来期の代表理事に推薦することを承認。来期総会に上程する。また、理事選考委員会から推薦の回答率を上げる方法や現在の規定の改変といった意見に関しては、三役会で協議し理事会に提案する

（松尾代表理事）身が引き締まる思いです。来期を引き受けると１０年になります。１０年をひとつの節目とし、それを踏まえて次の組織について三役会・理事会で協議していきたいと思いますので、宜しくお願いします

報告・連絡事項

１）８月 県本部・各委員会・各支部等の活動状況について

２）例会について（更なる例会の充実をめざして）－山口例会委員長
８月は諫早にて例会委員会を開催、諫早支部例会に参加しました。毎回、参加と欠席の支部に分かれてきていますが、遠くからの参加ありがとうございます。出席率が低迷をしています。各支部役員会で声掛けをお願いします。また・例会委員長より各支部にお願いします。グループ長は事前に選任し、本人の承諾を得ておいて下さい。発表者は他支部のオブザーバーやゲストに依頼せず、開催の支部から選任するように心掛けて下さい。他支部の例会に参加する方は、グループ長など慣れている方が多く、お願いするのは楽ですが、会員のレベルアップのため、多くの方に経験を積ませてください。各支部の役員会では例会委員会の実施報告と今後の改善提案を例会委員と検討して下さい。

３）中同協 主要行事の紹介

４）８月２２日（月）プレスリリースセミナー開催報告（山口情報広報委員長）
→長崎新聞社の出前講座の一環で開催。新聞社の方から直接話を聞く貴重な機会となり、細かいところまでお話しいただいたので、参加した方はぜひ活用を。詳細は広報誌にて

５）８月２５・２６日（木・金）中同協 組織強化・広報・情報化全国交流会参加報告－峰事務局次長
→長崎同友会が取り組んでいる内容・方向性・自主運営は他県に比べて進んでいるというのを感じた。自主運営ができていないところはなかなか組織が強くない。長崎同友会には紙芝居やポスターや手帳といったツールもたくさんある。また、新しくなった「同友会運動の発展のために」は、新たなことが追加され、読み返すと改めて学ぶことも多くある。どこかのタイミングで勉強会を開催したい。また、福岡同友会相談役の中村さんが本を出版。非常に濃い内容となっているのでぜひ注文を

６）８月２６日（金）第３回長崎県産業人材育成産学官コンソーシアム会議参加報告－田口事務局長
→コンソーシアム内の産業人材育成戦略策定検討ワーキンググループで協議をされている、長崎県産業人材育成戦略（仮称）についての主旨と目的の報告があった。その他のワーキンググループの開

催状況及び今後の方向性について説明があり、組織の再編についてと今後のスケジュールについて説明が行われる。また、当日「長崎経営人材育成塾」の開催についてアナウンスされる

７）９月１日（木）第２回サービス産業生産性向上推進協議会参加報告－峰事務局次長
→第１回目の協議会で①異分野の交流の場を設ける ②経営者の意識改革、という内容が決議され、今回は上記の内容を深める場となった。同友会としては異分野の交流を深める場として毎月の例会を行っている、また協議会の場に経営者の生の声を反映してほしいという意見を述べた。今後の状況を見ながらまた必要な意見を述べていく

８）同友会ポスター作成の進捗について－松尾代表理事
→おかげさまで第２弾のポスターが金融機関に掲示されている。掲示されていない場合は、掲示のお願いを。１０年、２０年と続けていくことが、同友会が素晴らしい会であるとの周知につながる。デザイン案に関しては来月の三役会を通じ、理事会に提出する

９）会費３ヵ月滞納者について－なし

１０）その他
（峰事務局次長）９／３０佐賀同友会２０周年の式典があります。詳細はe.doyuで案内しますので宜しくお願いします。
（永末副支部長）８／１０に佐世保支部ダイバーシティ経営委員会が特別支援学校の先生による会員企業訪問を企画しました。１日かけて数社回りましたが、実習や障がい者雇用につながればと思います。また障がい者を雇用していない企業を訪問することで、こういったところでも働くことができるのではという話を聞くことができました。
（中村委員長）厚生労働大臣表彰を受賞することとなりました。昨年もお声がけがあり、辞退させていただいたのですが、今年もお声がけがあり受賞することとなりました。来週東京に行き、授賞式に参加します。

留意事項

１）２０１７年 中同協役員研修会について－５月開催予定。今後は代表者会議で進捗を協議する
→大村で開催することを決定（２０１５年１１月理事会）

２）２０１９年 中小企業問題全国研究集会（全研）について
ニュー長…立食１０００名、椅子８００名、分科会対応約５室
ベストウェスタン…立食１０００名、椅子９００名、分科会対応最大６室
※中同協確認事項最大１０００名（上限を設ける）でも全国大会開催可能
→長崎市で開催することを決定（２０１５年１１月理事会）
※実行委員長の検討開始

閉会あいさつ－辻村副代表理事
まず９／１０の役員研修会には、みなさんごぞって参加いただいたので、ぜひお声かけを。そして１０月の経営フォーラムにもぜひ参加をお願いします。

※次回日程－１０月理事会 １０月４日（火）１９：００～つくば倶楽部

会員消息

会 員 数（９月１日現在）

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
目標	138	115	80	100	70	145	55	32	735
期首	113	88	68	73	56	122	44	25	589
現在	109	86	71	71	59	120	44	25	585

●企業住所等変更

岡村 雅彦 会員（長崎浦上支部）
新TEL番号：０９５－８１８－９０１２
新FAX番号：０９５－８１８－９０１１

松本 実文 会員（長崎浦上支部）
新FAX番号：０５０－１３９２－３０６２

荒木 実子 会員（長崎出島支部）
新住所：〒852-8156 長崎市赤迫2丁目7-2
新TEL番号：０９５－８９４－７３２３
新FAX番号：０９５－８９４－７３８８

柴崎 達泰 会員（島原支部）
新TEL番号：０９５７－７１－３０１６
新FAX番号：０９５７－７１－３０１６